

## 第6回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日 時：平成25年12月25日（水） 午後2時30分～午後3時50分
- 2 場 所：小田原市役所 601会議室
- 3 出席者：前田委員長、神馬副委員長、島村委員、田代委員、久積委員、毛利委員、瀬戸委員、片野委員、柳川委員、山崎委員  
事務局：石井課長、小川副課長、桂主査、小澤主任、木村主事
- 4 資 料： ・次第  
・資料1 小田原市における中間支援組織のあり方について 答申書（案）  
・資料2-1 市民活動応援補助金 第1次審査実施要領  
・資料2-2 市民活動応援補助金 第1次審査 採点表

### ■ 開会

委員長：ただいまから、第6回小田原市市民活動推進委員会を開会する。

本委員会の会議は、原則公開となっているのでご承知おきいただきたい。傍聴の方においては、傍聴者の遵守事項をお守りいただきたい。

議事に入る前に、事務局から配付資料の確認をお願いする。

（事務局 配付資料の確認及び本日の流れの説明）

### ■ 議題1 諮問事項について

委員長：それでは議事に入る。議題1 諮問事項について、事務局から資料に基づいて説明をお願いしたい。その後、資料1は当日配付資料であるため、目を通す時間を10分程度取りたい。

（事務局 資料1に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

⇒質疑無し

委員長：それでは、10分程度資料を確認する時間を取る。

（資料確認）

委員：「市民の力で未来を拓く希望のまち」はどこで定められている言葉か。

委員長：それは小田原市の総合計画に記載されている。

事務局：小田原市の総合計画の将来都市像に「市民の力で未来を拓く希望のまち」を掲げて様々な施策を展開している。市民活動の分野もこの将来都市像の実現の一助となるようこの言葉が入っているが、言葉の説明は加えていない。

委員長：説明を添えるか。

委員：第5期の報告書の「はじめに」でも記載している。その時には「総合計画で掲げている」と説明を付けている。

委員：そのような説明の仕方の方が分かりやすいと思う。

委員長：それでは第5期の報告書の記載に合わせる形でどうか。

事務局：「小田原市の将来都市像である」を「小田原市が総合計画で掲げている」に修正する形でよろしいか。

委員長：そのとおりである。この方がより明確になる。この形でよろしいか。

⇒全委員了承

- 委員：本件について議会でどのような質問があったのか確認したい。
- 事務局：議会では、市民活動サポートセンター・国際交流ラウンジ・女性プラザの機能を集約するにあたり、市が責任を持って運営する必要があるのではないかとというようなご意見等もいただいた。運営の前提は変わらないが、公による設置を検討していきたい。
- 委員長：本委員会では、公による設置が望ましいかどうかという議論ではなく、小田原市における中間支援組織に、より良い機能を発揮してもらうためにはどうしたら良いか検討してきた。議会からのご指摘は重要なことであるので、特化した書き方は難しいと事務局で考え、このような修正の提案になっていると思う。
- 委員：4ページの「コーディネート機能」の一つ目の最後に、「コーディネーターの設置」とあるが、人を指している表現になっているので、「コーディネーターの参加」か「コーディネート機能の設置」の方が表題と合うと思う。
- 委員長：この部分は「コーディネーターを置いている中間支援組織にはコーディネート機能がある」という意味合いで理解した。
- 委員：ふと読み直したら気になったのでお話した。
- 委員長：一般の方がお読みになることを考えるとどうか。分かりにくいか。
- 委員：大きな問題ではないと思う。そのままでも問題ではない。
- 委員：結びつける機能をコーディネーターが担うことを考えると元のままで読めると思う。
- 委員長：では、原文のままとさせていただきます。
- 委員：4ページの「(4) 学習・体験機会提供機能」の最後に「若い人」という表現があるが、改めて考えると「若い人」とは何なのか分かりにくい。
- 委員長：あえて多少広く表現している部分だと感じた。現在大学では60歳以上の方も入学してくる時代になってきているので、「大学生＝若い」とは必ずしも言えないと思う。
- 委員：一つ前の部分に「中高生・大学生」とあるので、はじめて読む方にもイメージは付きやすいと思う。このままで良い。
- 委員長：あくまで「中高生・大学生」の多数が若いということは間違いなく、若い人のボランティア参加は難しい面もあるため、「若い人の意見を取り入れる貴重な機会となる」という表現で差し支えないと思う。
- 委員長：他に意見もないようなので、修正箇所の最終確認をしたい。まず、1ページの「小田原市の将来都市像である」を「小田原市が総合計画で掲げている」に修正する。次に、見え消し部分の削除とアンダーラインを外していただく。以上の修正でよろしいか。
- 事務局：加えて、資料修正の際に誤って消してしまった箇所が一つあったのでお伝えする。5ページの16行目の「幅広いボランティアスタッフとして」は、以前お示していた「幅広い世代がボランティアスタッフとして」に戻させていただきたい。
- 委員長：それでは、その部分も含めて修正して最終版の発行をお願いする。

## ■ 議題2 市民活動応援補助金について

委員長：それでは議事に入る。議題2市民活動応援補助金について、事務局から資料に基づいて説明をお願いしたい。

(事務局 資料2-1, 2-2に基づいて説明)

委員長：資料は毎年かなりの量になる。本委員会後、各委員には書類審査を実施していただ

くので、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員 長：昨年度2次審査に進んだものは何件か。

事務 局：昨年度は18件の申請があり、第1次審査で15件が通過、第2次審査で10件が通過した。第2次審査対象事業が多かったことから、予定より早めにお越しいただき、お昼過ぎまでプレゼンテーション、お昼休みを挟んで、午後審査をお願いした。

委員 長：申請件数にもよるが、予算額・プレゼンテーションの時間などもあるので、第1次審査で絞らざるを得ないこともある。

委員 員：現時点の申請は1件のようだが、例年と比べてどうか。

事務 局：昨年と比べると少ないが、相談を受けている団体もいるので年明けに申請が挙がってくると思われる。また、市民提案型協働事業の制度を今年度からスタートさせ、補助事業からステップアップしている団体もあるので、例年より申請数が減ることも考えられる。

委員 長：1月下旬に事務局から申請書等の資料が送られてくるので、その資料を受け取った後に不明な点があれば事務局に確認して欲しい。

#### ■ その他

委員 長：その他について事務局からお願いします。

(事務局 事務連絡)

事務 局：次回、第7回は2月18日(火)9時30分～12時で実施させていただきたい。また、第8回は3月8日(土)9時30分集合で15時に終了する予定となっている。詳細については改めてご通知する。

委員 長：これをもって第6回市民活動推進委員会を終了とする。